

高
雄
命
名
式

0957

文部省 二號

艦政司 甲第 〇號

ス

海軍省 聯合

八月廿二日

上務

秘書官 (朱)

(印)

聯帶

(印) (印)

0958

明治卅一年八月廿二日

主務

大臣 次官代理

艦政局長 (印)

造船課長 (印)

兵器課長 (印)

機関課長 (印)

聯裝課長 (印)

普五七〇號

橫濱實業守府

横銀一才三九八號二島艦艇會社

認

明治卅一年八月二十二日

艦五三三號甲第(二)ノ二

海軍省

決裁濟

艦政局

明治三十七年八月十一日

横鎮一第三九八八號上

般兵三第甲第...

般兵三第甲第...

三第甲第...

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a report or log entry.

Official stamps and seals on the right side of the document.

0960

備考

西曆九月六日
普老九一

淨馮 校合

發行初出
九月八日

主務

秘書官

聯帶

年月日

主務

決裁濟

大臣

次官代理

伊藤

秘書官

天福

伊藤

案

奉十月十五日横濱支二於之ニハ新設進
水式執行之旨
而陛下 臨御可為杜内由是起申旨
如由大臣引通牒者之任案 以旨心均

海軍省

0963

普五七九一
十月六日

し

明治五年十月二十日

中大臣

横濱製糖株式會社社長

奉^レ十月十日横濱製糖株式會社於^レ之遊艇會名
即^レ執行^レ中

西陛下 修御の御ありは西^レ定^レあり

事^レ西^レ大^レ事^レありは軍^レ大^レ事^レ之^レ道^レ勝^レ有^レる

此^レ事^レありは道^レ起^レり

明治五年十月六日 吉野 少将

三河口 長

号^レ多^レ長

0964



三五七五
九月八日

九月十日横濱候ニ於テ高雄艦を水武執行ニ節
臨幸之儀ニ付昨廿六日當島重記官田宣新七郎
ヲ同府鎮守府ニ出陣為致申午田日令長官ヨリ申
議之趣及 奏聞後爰來ル十月廿五日午十二時三十
分執行ノ進水式ニ
兩陛下 臨濟ノ被為存旨 御申宣れ成仕百右
之趣鎮守府ニ 法通課有之 及以御 諸君多申
入也

明治廿五年九月廿七日 宮内大臣 皇太子 方久元

海軍大臣 伯耆 西郷 從道 殿

此ノ奉文日時ノ義申午申田日長官上内儀之上及
奏書儀有之 及百右 御申宣れ成仕百右

0965

備忘

決裁濟

三五七九
九月九日

秘書官 (奉)

淨馬 (奉) 校 (奉) 九月九日 (奉)

聯席 (奉) 主務

年月日

主務

大臣

次官代理 (奉)

秘書 (奉)

(奉)

案

横須賀造船所にて製造中の一等
艦艇の竣工検査に付、九月十日進水
執行、存于八日、同日
陸軍部より、この艦艇の検査に
関係する書類を提出せよとの旨が
あり、

海軍省

0967

江 戸 書 卷

之 年 月 日 考 者 智 史 横 濱 史 記 卷 之 何 人 以 是
出 上 中 第 一 行 在 所 出 之 年 月 日 考 者 智 史 横 濱 史 記
誤 抄 可 見 所 考 者 智 史 横 濱 史 記 卷 之 何 人 以 是

明治三十二年九月十日

海 軍 大 臣

如 右 大 臣 官

0968

普老九一
九月十九日

大房

附錄 四六五

馬路之札子

奉 札 于 月 高 路 之 札 子 奉 札 于 月 高 路 之 札 子

行 在 良 善 誠 意 之 札 子 奉 札 于 月 高 路 之 札 子

出 港 在 良 善 誠 意 之 札 子 奉 札 于 月 高 路 之 札 子

明 治 三 年 十 月 九 日 奉 札 于 月 高 路 之 札 子

格 凡 欲 知 悉 所 謂 良 善 誠 意 之 札 子 奉 札 于 月 高 路 之 札 子

海 軍 省 長 官 爲 西 部 長 官 札 子

海 軍 省 長 官 爲 西 部 長 官 札 子



0969

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a title or record entry. The characters are in cursive (sōsho) style. The text is written on a page with vertical ruling lines.

0972

陵

普六
十月二日

淨馬 豐校合

十月二日 主務

秘書官 (朱)

(聯) 聯帶

年月日 主務

漢成

大臣 次官代理 (朱)

手夏 親筆

親筆

空印 親筆

真牛 主務

伊系 主務

西平 主務

ヘイカキタニ 一五ニチヨコスカギヨウコウノセツナニワ

海軍省

0973

カンニノルオボシメシニツキトウカゴロニチヤクス
ルヨウメイレイアリタシ

ナニシ

ヨウハマ

0974

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is mostly illegible due to the high contrast and grain of the scan.

0976



第六三五
十月六日

大正官房

第九七九

本月十五日高雄艦命名式執行ニ付同日
御召艦ニ可相成浪速艦本月二十日迄ニ横濱、
福港ニ航ニ付向々艦内 由在所見地見分
ニ於右ニ指ニ後間 在福港ニ航次中東ニ由
通報者之後速航及由忠念也
明治廿一年十月五日

官房書記長田邊新太郎

海軍大臣秘書官

中

0977

決要

決裁濟大臣

廿年十月八日

秘書官

淨寫當校合

十月十日 發付勘山

主務

軍務局長

代山崎

法規課長山崎

主任課僚

岩村

聯帶

主務

山崎

指令案

普第六一三〇號

橫濱賀鎮奇府

橫鎮一第三九八八號、廿五 進式々場

席次件認可ス

每頁

0979

普六一三〇
十月十七日

海軍省

但イングリス病氣ニ付臨席難相成ベルタニ臨
席ノ義ハ其儀中へ相違置當事

明治廿一年十月十七日

訓令案

来ル十五日正午十二時三十分横須賀造船所
ニ於テ高雄艦進水式施行候ニ付當日
同時刻式場ニベルタニ臨席候様達方

取
報
フ
ハ
シ
明治廿一年十月十七日 海軍大臣

艦政局長宛

0930

普六三〇
十月十一日

宮内省
第一〇〇四號

来儿十五日高雄艦命名式之節式場席次之
義御打合之趣致承知後右者別紙御差越
之圖面通ニテ當者ニ於テハ別段之支之義
多之矣此段及御差也

明治廿一年十月十日

田邊書記官

本宿海軍大臣秘書官殿

0981

普六三〇
十月九日

淨馬堂校舎

十月九日

主務

秘書官

（朱宿）

（岩村）

聯帶

年月日

主務

木原

次官代理

秘書官

（朱宿）

（和）

案

事多千五百字... 此... 十月九日

毎頁首

0983

徳川幕府の御用書
山本徳兵衛

海軍

0986

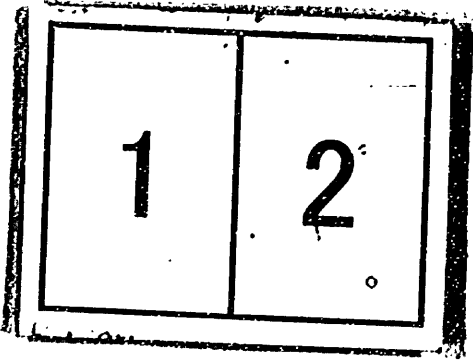
國
面

之
葉

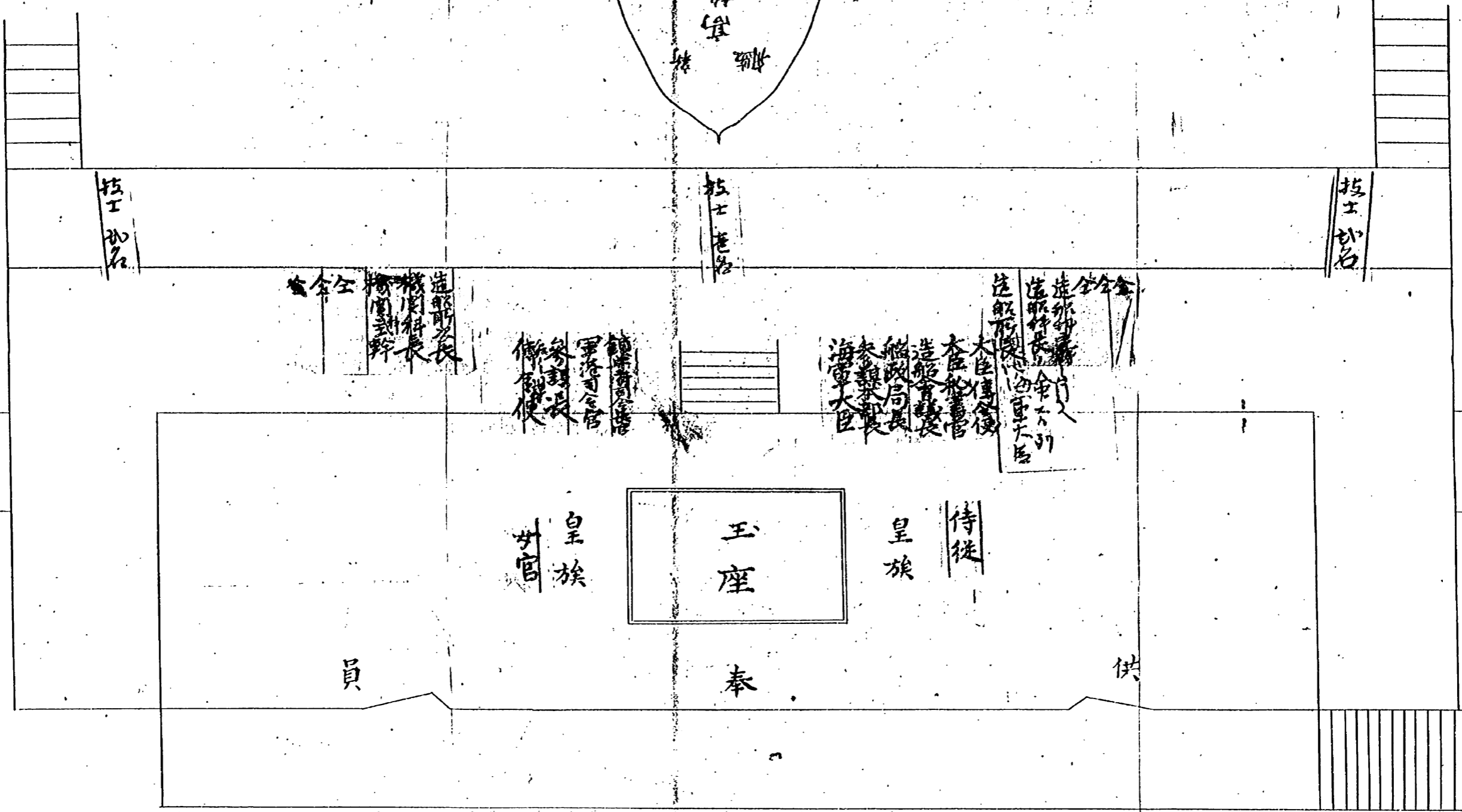
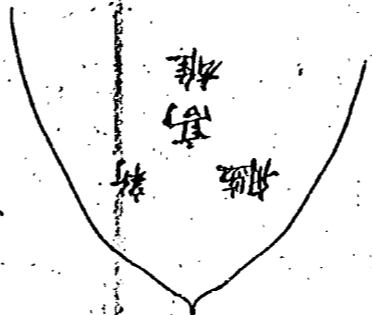
0987

蘇
州
府

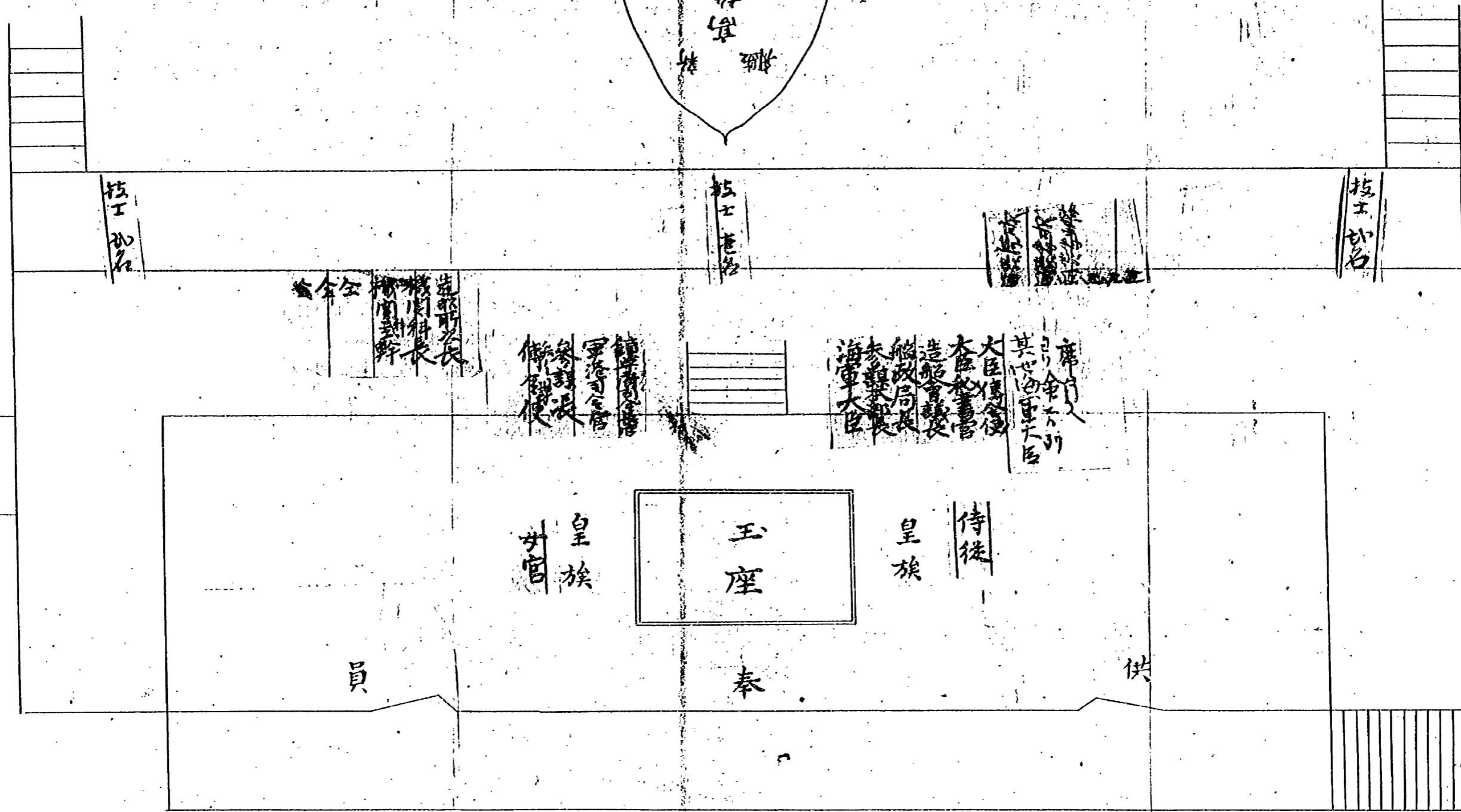
分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

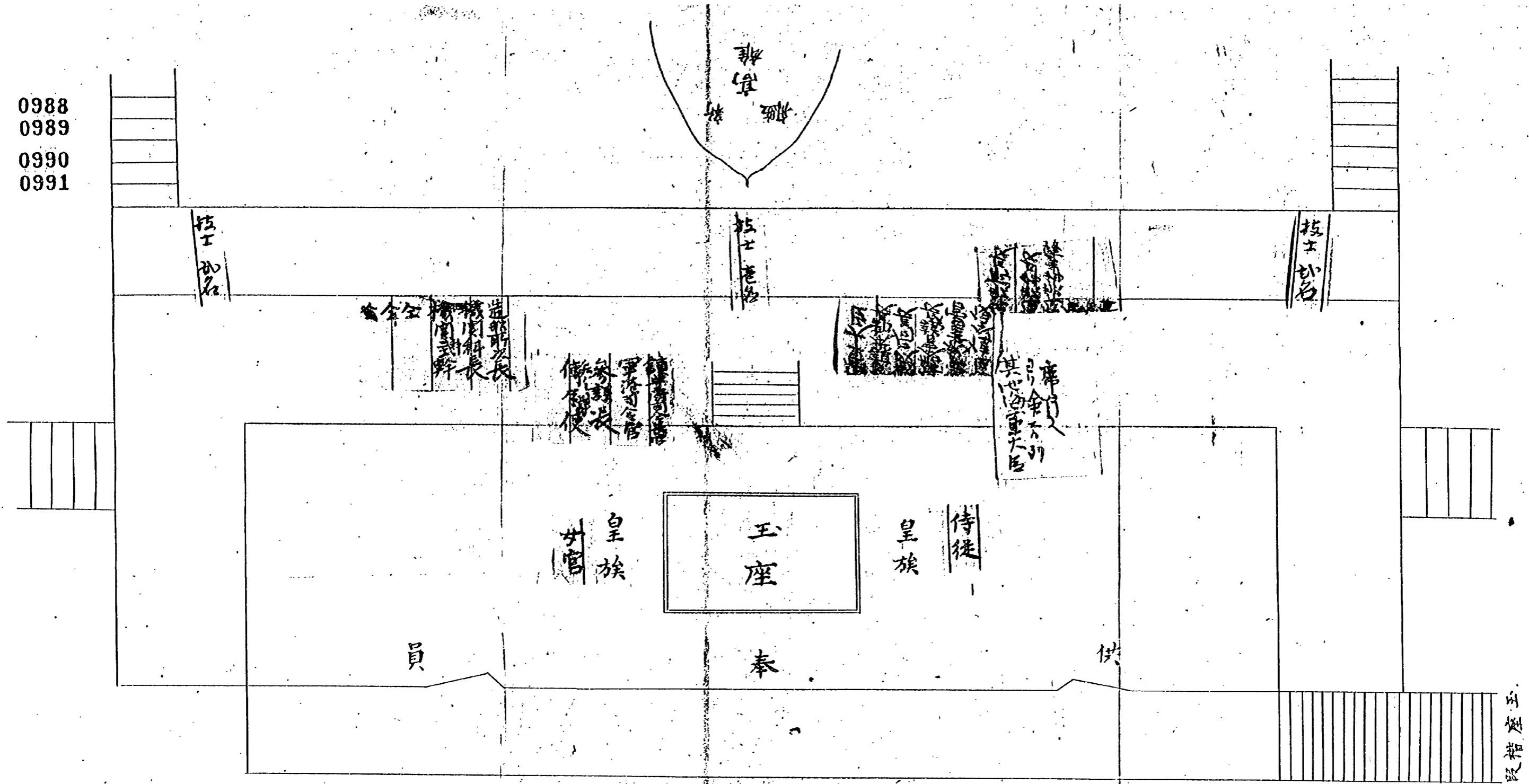
0988
0989
0990
0991

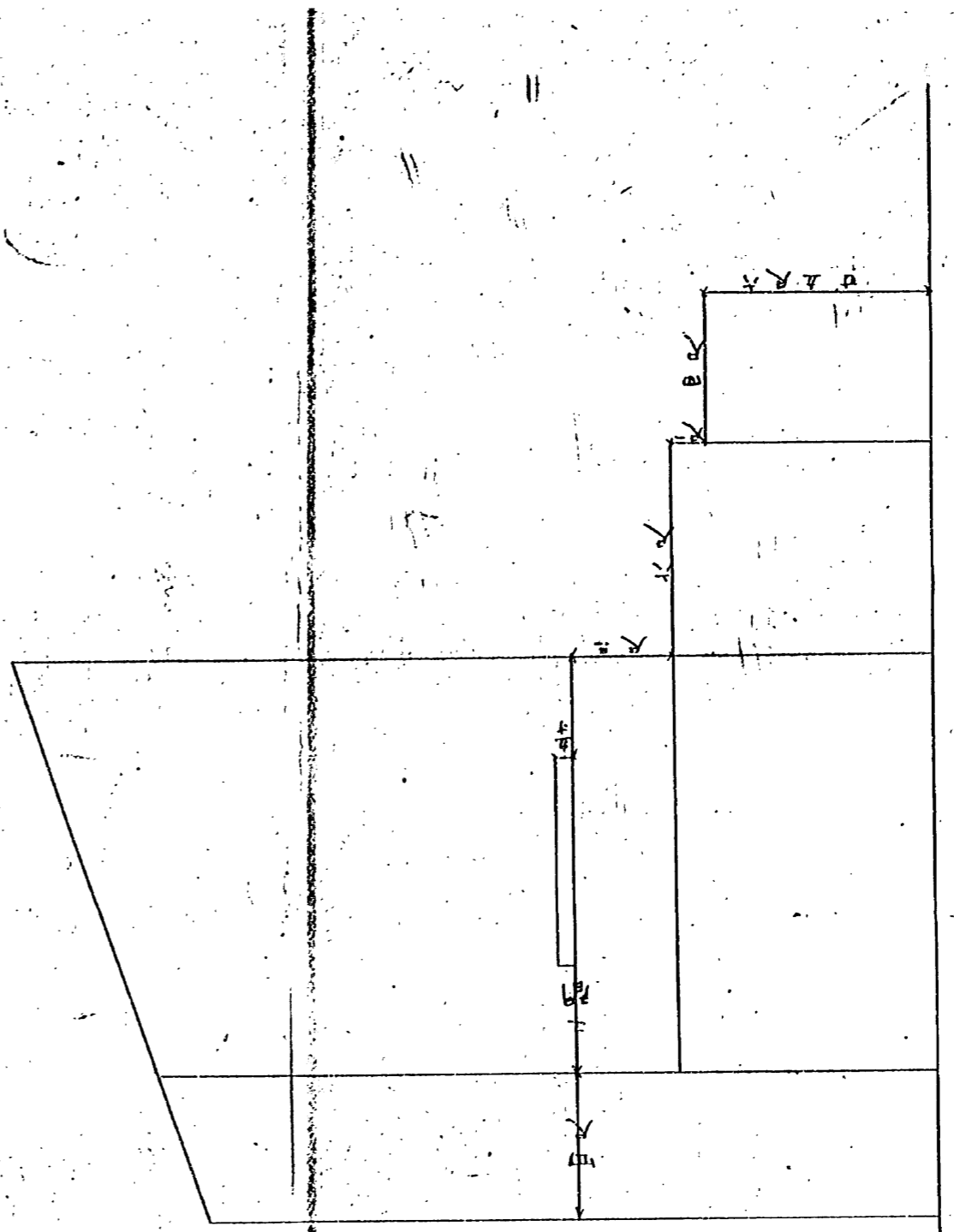
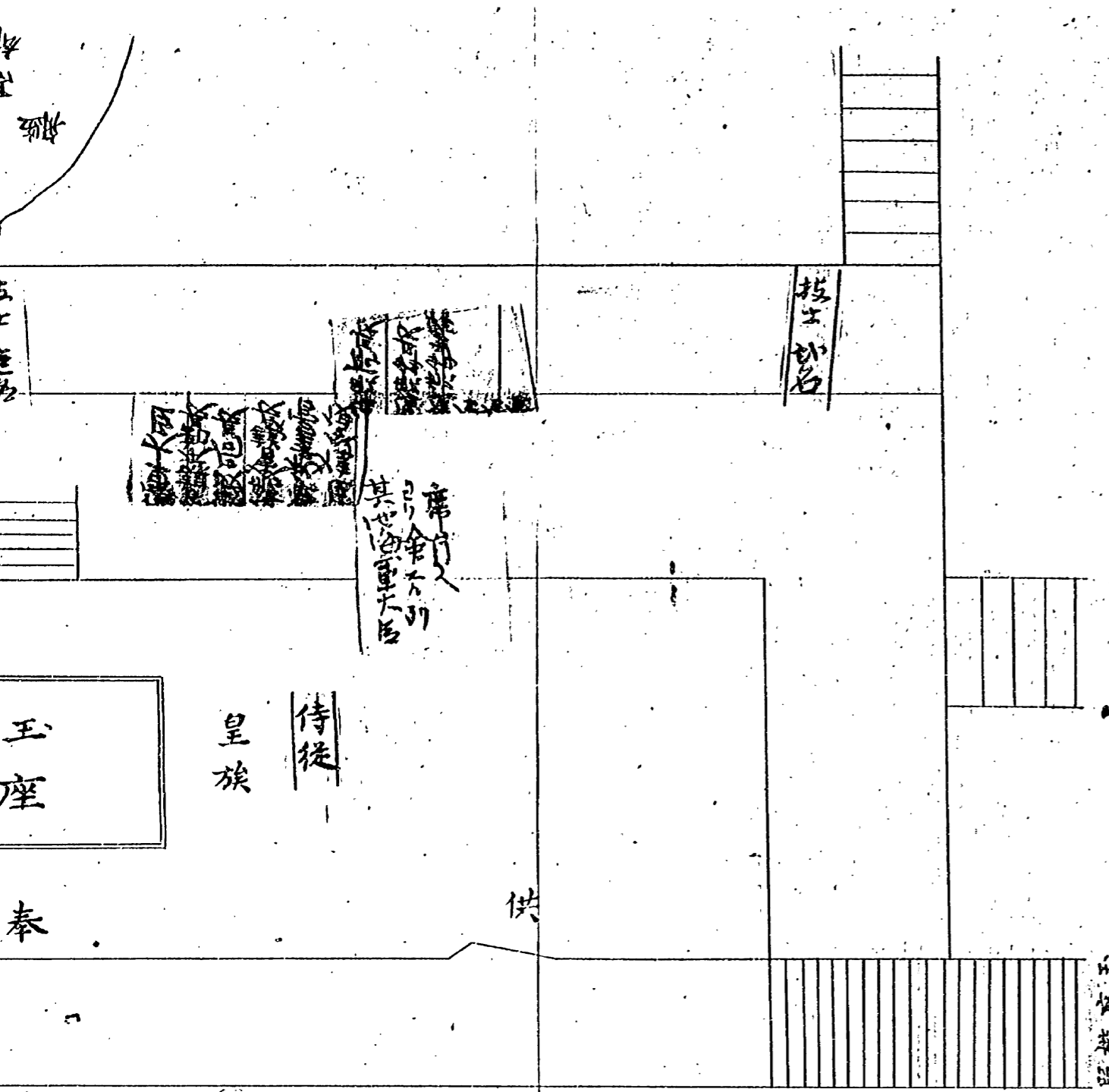


0988
0989
0990
0991



0988
0989
0990
0991





會計

三浦

決裁

大臣

三浦
十月十二日

秘書官

三浦

淨馬

校合

三浦
十月十二日

主務

聯瑞

永田

十月十二日

年月日

主務

次官代理

三浦

秘書官
三浦

出納課

三浦

検査課

三浦

禁

事十五日横濱支店収入三於了り
或新打五条横濱支店長代理了り
了り

昭和九年十月十二日

海軍省

0992

海軍省

海軍大臣

海軍省海軍大臣官舎

海軍省海軍大臣官舎
十月廿二日

0993

普六八
十月十日

秘書官 (本宿)

淨馬 (三浦)

校合

(三浦)

發付粉山
十月十日

主務

(岩村)

聯帶

年月日

主務

木匠

次官代理

秘書官

(本宿)

案

奉 十五日之旨 應命在式 在記之人名
臨時 於殿 於案 此及 出通 標々

昭和三年十月十日

本宿 秘書官 印

海軍省

0994

横濱支店有月書

海軍省

股長伊藤

道平

股長山崎

股長佐藤

股長山崎

股長田代

股長鈴木

股長川村

0995

三十一

野崎 長

道 長

野崎 長

野崎 長

野崎 長

野崎 長

野崎 長

野崎 長

0997

軍艦高雄命名書寫

用紙、桐葉ノ透シアル
緯令用紙ナリ

命名書

本艦明治十九年十月構造ヲ始メ今船體成ルヲ

告ク依テ高雄ト命名シ進水ス

明治二十一年十月十五日

海

軍

0998

